

# 温 泉 分 析 書

北公研 第 04C-0318001 号  
平成17年1月27日

1. 申請者 住所： 福井県丹生郡越前町道口1-24-1  
氏名： 越前町長 京谷宗雄
2. 源泉名及び湧出地 越前2号温泉  
福井県丹生郡越前町厨第20号20番地の2

所在地 福井市光陽4丁目11番22号  
登録分析機関 財団法人 北陸公衆衛生研究所  
登録番号 福井県登録番号 第2号  
代表者氏名 理事長 若泉 輝行

3. 湧出地における調査及び試験成績
- (1) 調査及び試験者 : 財団法人 北陸公衆衛生研究所 植田 伸子  
(2) 調査及び試験年月日 : 平成17年 1月11日  
(3) 泉 温 : 39.3 ℃ ( 調査時における気温: 3.4 ℃ )  
(4) 湧出量 : 240 l/min (動力)  
(5) 知覚的試験 : 無色、澄明、微弱硫化水素臭、無味  
(6) PH値 : 8.3

4. 試験室における試験成績
- (1) 試験者 : 財団法人 北陸公衆衛生研究所 植田 伸子  
(2) 分析終了年月日 : 平成17年1月27日  
(3) 知覚的試験 : 無色、澄明、無臭、無味 ( 採水後 24 時間 )  
(4) PH値 : 8.44 (5) 密 度 : 0.9999 (20℃)  
(6) 蒸発残留物 : 1.032g/kg (180℃)

5. 試料 1 Kg中成分、分量及び組成

(1) 陽イオン

成 分	ミクログラム (mg)	ミリバール (mval)	ミリバール %
リチウムイオン (Li <sup>+</sup> )	0.3	0.05	0.28
ナトリウムイオン (Na <sup>+</sup> )	402.2	17.49	98.26
カリウムイオン (K <sup>+</sup> )	1.3	0.03	0.17
マグネシウムイオン (Mg <sup>2+</sup> )	0.5	0.04	0.22
カルシウムイオン (Ca <sup>2+</sup> )	3.6	0.18	1.01
ストロンチウムイオン (Sr <sup>2+</sup> )	0.3	0.01	0.06
アルミニウムイオン (Al <sup>3+</sup> )	0.1 未満	0.00	0.00
マンガンイオン (Mn <sup>2+</sup> )	0.1 未満	0.00	0.00
バリウムイオン (Ba <sup>2+</sup> )	0.1 未満	0.00	0.00
総鉄イオン (Fe <sup>2+</sup> /Fe <sup>3+</sup> )	0.1 未満	0.00	0.00
アンモニウムイオン (NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> )	0.1 未満	0.00	0.00
亜鉛イオン (Zn <sup>2+</sup> )	0.1 未満	0.00	0.00
陽イオン計	408.2	17.80	100.0

(2) 陰イオン

成 分	ミクログラム (mg)	ミリバール (mval)	ミリバール %
フッ化物イオン (F <sup>-</sup> )	22.6	1.19	6.73
塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> )	47.3	1.33	7.52
硫酸イオン (SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	240.0	5.00	28.28
炭酸水素イオン (HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	605.0	9.92	56.11
炭酸イオン (CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup> )	7.3	0.24	1.36
臭化物イオン (Br <sup>-</sup> )	0.1 未満	0.00	0.00
亜硝酸イオン (NO <sub>2</sub> <sup>-</sup> )	0.1 未満	0.00	0.00
亜硫酸イオン (SO <sub>3</sub> <sup>2-</sup> )	0.1 未満	0.00	0.00
硫化水素イオン (HS <sup>-</sup> )	0.1 未満	0.00	0.00
ヒドリン酸イオン (HPO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	0.1 未満	0.00	0.00
水酸化物イオン (OH <sup>-</sup> )	0.1 未満	0.00	0.00
陰イオン計	922.2	17.68	100.0

(3) 遊離成分

非 解 離 成 分	ミクログラム (mg)	ミリモル (mmol)
メタケイ酸 (H <sub>2</sub> SiO <sub>4</sub> )	33.9	0.43
メタホウ酸 (HBO <sub>3</sub> )	4.2	0.09
非 解 離 成 分 計	38.1	0.52

溶存物質 (ガス性のものを除く) 1.369 g/Kg

溶 存 ガ ス 成 分	ミクログラム (mg)	ミリモル (mmol)
遊離二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	0.1 未満	0.00
遊離硫化水素 (H <sub>2</sub> S)	0.1 未満	0.00
溶 存 ガ ス 成 分 計	0.0	0.00

成分総計 1.369 g/Kg

(4) その他微量成分

成 分	mg/Kg
総ヒ素 (T-As)	0.092
総クロム (T-Cr)	0.05 未満
総水銀 (T-Hg)	0.0005 未満
カドミウム (Cd)	0.01 未満

成 分	mg/Kg
鉛イオン (Pb <sup>2+</sup> )	0.01 未満
銅イオン (Cu <sup>2+</sup> )	0.01 未満
水素イオン (H <sup>+</sup> )	0.01 未満
総硫黄 (S)	0.1 未満

6. 泉 質 ナトリウム-炭酸水素塩・硫酸塩泉 (低張性弱アルカリ性温泉)

7. 禁忌症・適応症は別表による。

# 温泉分析書別表

No.04C-0318001号

源泉名 越前2号温泉  
源泉所在地 福井県丹生郡越前町厨第20号20番地の2  
温泉分析申請者 住所 福井県丹生郡越前町道口1-24-1  
氏名 越前町長 京谷宗雄  
泉質 ナトリウム-炭酸水素塩・硫酸塩泉（低張性弱アルカリ性温泉）

## 1. 禁忌症及び適応症

温泉の医治療効用は、その温度その他の物理的因子、化学的成分、温泉地の地勢、気候、利用者の生活状態の変化その他諸般の総合作用に対する生体反応によるもので、温泉の成分のみによって各温泉の効用を確定することは困難であるが、この温泉の浴用と飲用の禁忌症及び適応症は、おおむね次のとおりである。

### (1) 浴用の禁忌症

急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（特に初期と末期）

### (2) 飲用の禁忌症

腎臓病、高血圧症、その他一般にむくみのあるもの、下痢の時

### (3) 浴用の適応症

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、やけど、慢性皮膚病、動脈硬化症

### (4) 飲用の適応症

慢性消化器病、糖尿病、痛風、肝臓病、慢性胆嚢炎、胆石症、慢性便秘、肥満症

## 2. 浴用または飲用上の注意

温泉には老化現象が認められ、地中からゆう出した直後の新鮮な温泉が最も効用があるといわれているが、それぞれの泉質に適する用い方をしなければかえって疾病に不利に働く場合がある。したがって浴用又は飲用上の注意事項はおおむね次によることとし、特に飲用には新鮮な温泉を用いるとともに源泉及び飲泉施設については十分な公衆衛生上の配慮を行うこと。

### (1) 浴用上の注意事項

ア. 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とすること。その後は1日当たり2回ないし3回までとすること。

イ. 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を相当とすること。

ウ. 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり（湯さわり又は浴湯反応）が現れることがある。「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。

エ. 以上のほか入浴には次の諸点について注意すること。

(ア) 入浴時間は、入浴温度により異なるが、始めは3分ないし10分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。

(イ) 入浴中は、運動浴の場合は別として一般的には安静を守る。

(ウ) 入浴後は身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない（湯ただれを起こしやすい人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい）。

(エ) 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。

(オ) 次の疾患については原則として高温浴（42℃以上）を禁忌とする。

高度の動脈硬化症、高血圧症、心臓病

(カ) 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。

(キ) 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。

(ク) 飲酒しての入浴は特に注意する。

### (2) 飲用上の注意事項

ア. 飲泉療養に際しては、温泉について専門的知識を有する医師の指導を受けることが望ましいこと。

イ. 温泉飲用の一回の量は一般に100mlないし200ml程度とし、その1日の量はおおむね200mlないしは1,000mlまでとすること。

ウ. 強塩泉、酸性泉、含アルミニウム泉及び含鉄泉はその泉質と濃度によって減量し、又は希釈して飲用すること。

エ. 以上のほか、飲用については次の諸点について注意すること。

(ア) 一般には食前30分ないし1時間がよい。

(イ) 含鉄泉、放射能泉及びヒ素又はヨウ素を含有する温泉は食後飲用する。含鉄泉飲用の直後には茶、コーヒーなどを飲まない。

(ウ) 夕食後から就寝前の飲用はなるべく避けることが望ましい。

(注) この別表は、温泉法第13条による掲示に必要な参考資料となるものである。

平成17年1月27日

登録分析機関  
登録番号  
所在地  
代表者の氏名

財団法人 北陸公衆衛生研究所  
福井県登録番号 第2号  
〒910-0026 福井県福井市光陽4丁目11番22号  
理事長 若泉 輝行 印